

【大学間協定留学】留学報告書

記入日	2023年1月4日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部経済学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2023年 11月 17日
明治大学卒業予定年月	2026年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	ニューヨーク州立大学バッファロー校 (日本語名) University at Buffalo(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2023年8月～2023年12月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 8月下旬～12月中旬 2 学期: 2月上旬～8月下旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	約3万
創立年	1846

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (\$)	日本円	備考
授業料	0	0 円	協定留学のためなし
宿舍費	4781	717,150 円	寮費 (Goodyear Hall)
食費	840	126000 円	ダイニングポイント 600 ドル+買い物、外食
図書費	110	16500 円	教科書代
学用品費	25	3750 円	ノート、電卓
携帯・インターネット費	45	6750 円	Mint Mobile
現地交通費	0	円	大学まではバス。 Uber くらい。(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費	146	21900 円	
医療費		円	
保険費	1432	214,800 円	形態: 明治の保険+UB の保険
渡航旅費		213260 円	
ビザ申請費	377	53597 円	ビザ申請+SEVIS
雑費		200,300 円	娯楽、衣食以外の買い物など
その他	23.5	3579 円	UB カードなくして再発行しました・・・
その他		円	
合計	7779.5	1,577,186 円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:羽田空港(HND) **目的地:**バッファロー(BUF) **経由地:**ロサンゼルス国際空港(LAX)、ロナルドレーガンナショナル空港(DCA)

復路 出発地:バッファロー(BUF) **目的地:**羽田空港(HND) **経由地:**フォートワース国際空港(DFW)

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社:アメリカン航空

料金:213,160 円

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社: 料金:

復路 航空会社: 料金: ∴合計:

航空券購入方法

旅行代理店(店名:)

インターネット(サイト名:トリップドットコム)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前:Goodyear Hall) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 2)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

現地大学からの案内

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

Goodyear は古い建物で、キャンパスからも遠い(バス通学する必要がある)ので少し不便かもしれません。寮自体はすごく静かな感じです。ルームメイトとは特にトラブルなく過ごせましたが、オンライン授業やビデオを撮る課題をやるときなどは少し気を遣うのと、1人の時間がとりにくいのでそこは欠点かなと思います。引っ越ししている人もいました。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

1人で夜に出歩かないようにしました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

学校のWiFiもSIMも全く問題なかったです。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現金(日本で先に両替していきました)とクレジットカードだけで大丈夫でした。クレジットカードはVISA, MASTERの両方があると安心だと思います。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

飲みなれた薬、コンタクト類、洗濯ネット、歯ブラシなど使い慣れたもの あとヒートテック
物価が高く冬服を大量に買ってちょっともったいなかったので、ダウンなど冬服は多めに入れるといいです。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)	
1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
15 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Spoken English	英語の話し言葉
科目設置学部・研究科	English Language Institute
履修期間	1 semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回
担当教授	John Ilish
授業内容	英語ノンネイティブが、英語でプレゼンテーションをするのに必要なスキルを身に着ける
試験・課題等	プレゼンテーション 3 回とそのアウトライン課題と何回か quiz(小テスト、割合かんたん)
感想を自由記入	プレゼンテーション自体は難しくないけれど、グループで取り組むものがあつたりアウトラインの課題が重かったりと少し手間がかかる授業でした。無理して取る必要はないかも。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
JPN496TUT Internship Practicum	日本語会話インターンシップ実習
科目設置学部・研究科	Linguistics
履修期間	1semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が1回
担当教授	Chihiro Heckman
授業内容	日本語を学ぶ現地学生たちに向けて会話の練習の場を作り、日本語を教える。(会話セッションといいます)。また交流会という日本の文化を楽しく学び、日本人と日本語を学ぶ現地学生が友達になれるものを運営する。
試験・課題等	会話セッションへの指導案作り及び参加、振り返り。交流会のプランを作る(持ち回り)、および参加。
感想を自由記入	日本の当たり前を海外から見ると当たり前じゃないことや日本語の難しさがわかり、現地の友達も日本人留学生の友達もでき、楽しい授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intro to Financial Accounting	会計学入門
科目設置学部・研究科	Accounting & Law
履修期間	1 semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が2回
担当教授	Rose Hu
授業内容	バランスシートの読み方や損益計算書の見方など簿記に近い。
試験・課題等	毎週月曜日と水曜日が講義で毎週金曜日にその週の内容の quiz がある。月曜日までに concept overview という内容の予習課題を提出し、金曜日までに練習問題(Homework problem)を提出する必要がある。さらに中間試験と期末試験がある。
感想を自由記入	すごく丁寧に教えてくれるし、宿題をコツコツやれば理解できるような内容で少し大変だけど単位は取りやすいと思います。オフィスアワーもたくさん使うといいです。前半は簿記の知識に助けられました。後半は宿題が難しく時間がかかってきつかったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Enterprenership& Small Business	起業家精神とスモールビジネス
科目設置学部・研究科	Operations Management & Stratrgy
履修期間	1 semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に80分が2回
担当教授	Thomas Murdock
授業内容	起業家の思考プロセスや課題解決のテクニック、ビジネスで必要な考え方を学ぶ。
試験・課題等	試験は open note の quiz2 回だけですが、課題がたくさんあります。(venture tool, ポットキャストを聞き学んだことを書く reflection paper×4, video pitch, presentation など)
感想を自由記入	Reading の内容も自分にはなじみがないものだし、常に何かしらアイデアを考えなければならぬし、何度も現地学生と連絡を取り合い協力してグループプレゼンテーションをつくる必要があるし、言語の壁と知識のなさですごく大変でした。ただアメリカで行われている起業家教育を見られたことは良い経験でした。留学生は私だけだったような気がしますが、教授は私の立場を理解してくださり助かりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Principles of Marketing	
科目設置学部・研究科	Management Marketing
履修期間	1 semester
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー+レシテーション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が2回
担当教授	Alan Dick
授業内容	マーケティングに必要な考え方や要素を学び(オンラインのオンデマンド講義)、レシテーションでそれを復習したりグループワーク課題で理論を活かしてマーケティングプランを作る。
試験・課題等	オンラインの中間試験 3 回、実際の会社のマーケティングを分析しレポートを書く Case Study 課題 2 本、グループワーク課題があった。
感想を自由記入	アメリカの会社の具体例がたくさん出てきたし、実践を通してマーケティングを学べるのは面白かった。中国の学生とチームを組み、彼らの文化とアメリカの文化がぶつかりアイデアを通すのに時間がかかったことで国の違いもよくわかった。試験は定期的にあるのでその勉強をするのに最初は時間がかかってしまい大変だった。後は課題のためにさまざまなデータを収集する必要がありそれもかなり時間を要した。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等
3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。
(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEFL 受験
	10月～12月	出願
留学開始年	1月～3月	奨学金準備
	4月～7月	Housing手続き、VISAの手続き、航空券の取得、健康書類の取り寄せ
	8月～9月	携帯関連の準備、出発
	10月～12月	帰国
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

まず、アメリカを留学先を選んだ理由は大きく分けて3つあります。①アメリカは日本に比べて企業の成長率が高いイメージがありそれ故アメリカの大学のビジネスに関する教育を見たいと思ったこと、②多文化が混ざり合う環境での生活を体験したかったこと、③英語力を伸ばしたいと思ったこと、です。実際にアメリカに行って感じたことをこの3つの理由に沿ってまとめます。

1つ目ですが、アメリカのビジネス専攻では実践を通して学ぶことに重きを置いているなど感じました。例えばマーケティングの授業では3-5人のグループでビジネスプランをゼロから考える課題が出てターゲットの顧客層やサービスの内容、価格、販売経路、広告戦略などを細かく考える必要がありました。また起業家教育の授業ではイノベーションの仕方をよく扱っていましたがその際も身近な不満1つに対してそれを解決するビジネスモデルを3つ考える、という実践型の課題が出ていました。どちらの授業もTeaching Assistantや教授はかなり細かくフィードバックを下さり、少しおかげさですが飛躍的な企業成長に必要なスキルを持つ人材を本気で育てているんだなと思いました。

2つ目ですが、多文化が混ざり合う環境ゆえ使用言語や文化が同じまたは似ていると安心するからなのか、同じ人種で固まっている人たちが多かった気がします。私も仲良くなりやすかったのはシンガポール、バングラデシュ、インド、韓国、中国、フィリピンなどアジア圏の学生が多いです。アメリカの人も表面上はフレンドリーですが、本当に仲良くなるのは留学生以上にハードルが高いかもしれません。現地生でも仲良くできているのは日本に興味を持つ人が多くを占めています。そのため多国籍の友達を作りたければ自分からたくさん話しかけたりイベントにたくさん参加したりすることが必須だと思います。気になるクラブ活動や寮のイベントにはぜひ行ってみてください。International Bridgeという組織が火曜日の夜に集まりをしているのですが、留学生や一部の現地生が集まっているかつ主催者の方がすごく優しいので友達づくりのきっかけにおすすめです。そこで仲良くなった人とお出かけをしたり家に招いてもらって一緒にご飯を食べたりということがよくありました。また他国の留学生や現地生は日本のアニメやドラマ、音楽を良く知っている人が割と多かったので留学前に有名どころだけでもチェックしておくといいかなと思います。現地生に関してはアメリカのドラマや映画を見たり洋楽を聴いたりすると仲良くなるきっかけはつかみやすいかもしれません。実際に私も最初の話題はおすすめの映画や音楽についてだった気がします。そして好きなことや特技を自分の中ではっきりさせておくとも国籍関係なく仲良くなりやすい気がします。私は特段好きなことや特技が自分の中で明確になっておらず、2回目以降の話題に困ることが多々ありました。

3つ目ですが、英語力向上は効果が見えにくく想像以上に難しく感じました。ネイティブスピードの英語が聞き取れない、スラングが全然わからない、テストの問題を読み理解するのに少し時間がかかる、どうしても無意識に日本語で思考してしまうからレスポンスに時間がかかる・・・このようなことを繰り返す度に自信をなくして落ち込んで、なんだか渡航前より聴き取れない、話せない、そんな気がする・・・とふさぎ込んでしまうこともよくありました。またオススメしてもらった海外映画を見てみたら、映画で使われているスラングや特有の文化が理解できなくて楽しめない、、、というのもストレスでした。これに関しては、ひとつは留学前に英語を使う機会を1日5分でも毎日持つといいかなと思います。英語の勉強に海外アニメや映画を使ってもいいかもしれません。もうひとつはそんな自分の能力に一旦目をつむって、怖気づかずノンネイティブの特権を使うつもりでいたらいいかもしれません。2人で会話していたら相手に「こういうことを伝えたかったので合ってる?」と知っている単語で聞いてみたり。みんなで会話しているなら、日本人留学生の仲間がいれば、ゆっくりな英語で助けてもらったり、いなければ少しゆっくり話してと頼んでみたり。また私の場合そもそも自分で決めることや自分のアイデアを持つこと、主張することがすごく苦手で、「どう思う?」と聞かれてもしどろもどろになってしまう特性が、英語が苦手だという自己嫌悪を大きくしていた気がします。だから自分で意見を持って主張することを日本語でいいのでたくさん練習しておけばよかったのかも、と今は思います。

最後に。私は留学が今回初めてでたくさん学ぼう、頑張ろう、多国籍の友達作ろう、自分に自信がないのを、海外生活を乗り越えることで克服しよう、という期待の気持ちがとても強くありました。そのためつい自分の体力と健康のことを全く考えず下手すれば夜中や休日まで課題にかかる上に内容も難しく、試験も定期的にあるような授業を詰め込み、ISSのナイアガラの滝ツアーや2泊3日のキャンプなど何かしらに休日は参加し、平日はクラブ活動に出てその後図書館で夜中まで勉強し、ということをしていたら体調を崩してしまい、身体が思うように動かなくなって、4カ月の予定が3カ月で途中帰国を余儀なくするという悔しいことになってしまいました。先ほどの英語の件しかり、交換留学という現地生と同じ形での海外生活は大変なことがたくさんあります。例えば土曜日にはバスでwalmartに買い物に行き食材を買い、節約のために自炊したりと勉強だけでなく生活も両立させる必要があります。食事の準備って実家暮らしの場合など意外と慣れないと時間がかかります。渡航前そのことがふんわりとしか頭になく、勉強の忙しさにかまけて食事をおざなりにしてしまい身体を壊しました。またUBは日本人が多くて、彼らにはたくさん助けてもらってありがたいのですが、私から見て英語力も生活力もコミュニケーション能力もすごくあるな、と思うような人が多くついそんな日本人留学生たちと私を比べてしまい落ち込むことも多々ありました。だから、頑張ろうという気持ちも勿論大切だけど楽しむ

ぞ、という気持ちで、観光やThanksgiving体験、友達との時間など、楽しいことを勉強のことや周りの人のことを気にせず心置きなく楽しめるメンタルを取っておけるように(?)あまり気負わずに、授業も数を詰め込みすぎたり内容が重いものを取りすぎたりせず、どこか心に余裕を持てるように、自分が肉体的にも精神的にも楽だと思うくらいのペース配分で生活してほしいなと思います。留学頑張ってください！